

取扱説明書

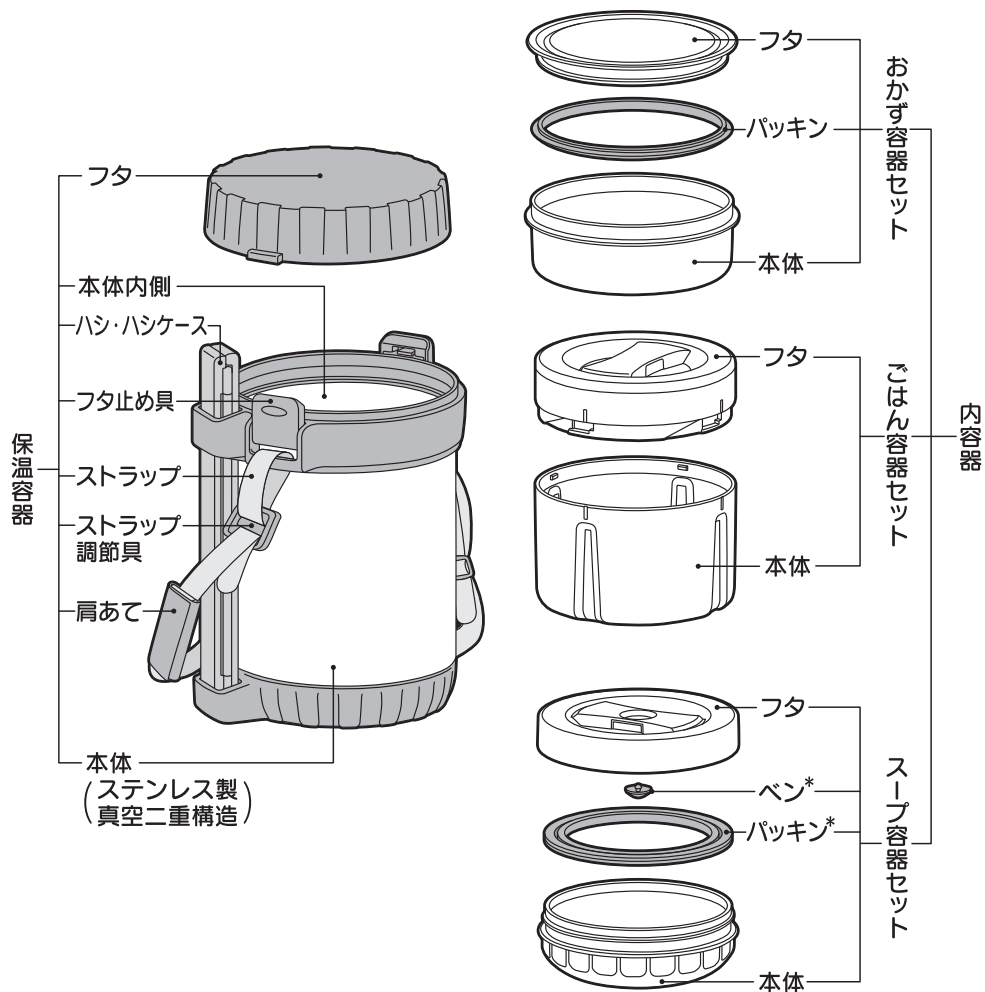
品番：JBG用

このたびはサーモス・ステンレスランチジャーをお買い上げいただきありがとうございます。
ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みください。
そして、いつでも取り出せるところに大切に保管してください。

家庭用

各部のなまえ

ご使用前に、各部品がそろっていることを確認してください。



*フタに付いています。

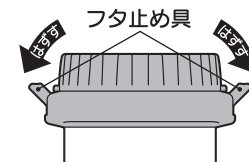
ご使用方法

ご使用前に内容器・ハシ・ハシケースを十分に洗ってください。

本製品は一年中ご使用いただけます。下記ご使用方法をお守りください。

① 内容器を取り出す

- ① 保温容器のフタ止め具をはずし、フタを取ります。
- ② 内容器を取り出します。



② 予熱をする

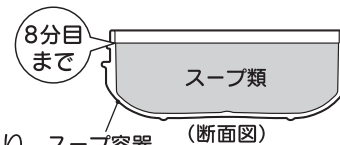
保温効果をより高めて、おいしくお召上がりいただくために、あらかじめ保温容器・ごはん容器・スープ容器に熱湯を少量入れ、1分程度予熱します。

※おかず容器は予熱しないでください。

※予熱後はその湯を捨て、水分を拭き取ってください。

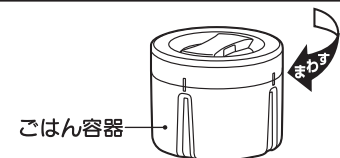
③ スープ容器にスープ類を入れる

- ① 熱いスープ・みそ汁を入れます。
※入れる量は8分目までにしてください。
- ② フタを右にまわして確実に閉めます。
※フタにベンとスープ容器パッキンが正しく取り付けられていることを確認してください。



④ ごはん容器にごはんを入れる

- ① 熱いごはんを入れます。
- ② フタを右にまわして“カチッ”と音がするまで確実に閉めます。



⑤ おかず容器におかずを入れる

- ① 十分に冷ましたおかずを入れます。
- ② フタを確実に取り付けます。
※フタにおかず容器パッキンが正しく取り付けられていることを確認してください。

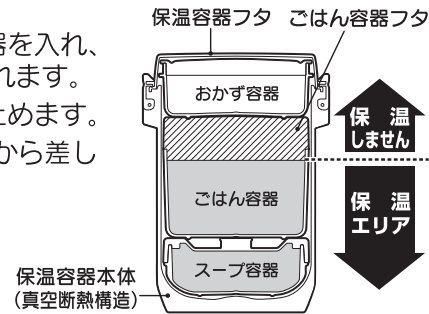


ご使用方法

⑥ 保温容器フタをする

- ①最初にスープ容器を入れ、次にごはん容器を入れ、最後におかず容器の順番で保温容器に入れます。
- ②保温容器フタを取り付け、フタ止め具を止めます。
- ③ハンケースを本体側面の取り付け部に上から差し込みます。

※保温容器(真空断熱構造)内では、ごはん容器フタより下の部分が**保温エリア**となっており、ごはんとスープ類を保温します。



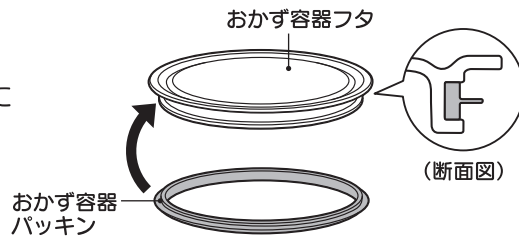
パッキン・ベンの取り付け方

正しく取り付けられていないと、漏れの原因になります。

おかず容器フタ

パッキン

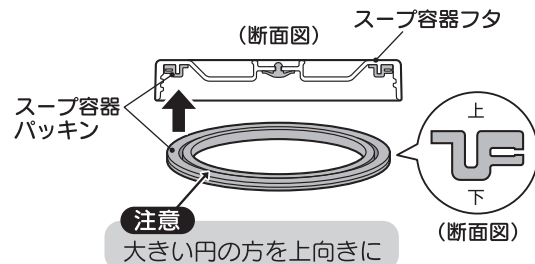
図の位置に全周にわたって確実に取り付けます。取り付け後はパッキンが浮かないようにまんべんなく押します。



スープ容器フタ

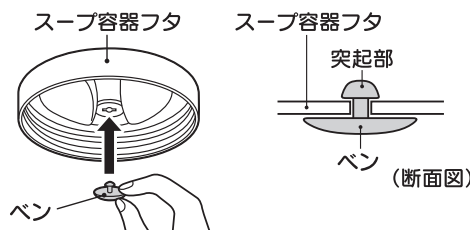
パッキン

図の位置に全周にわたって確実に取り付けます。取り付け後はパッキンが浮かないようにまんべんなく押します。



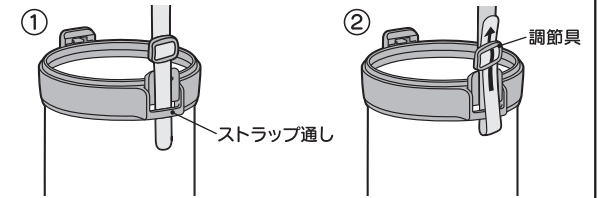
ベン

ベンの突起部がスープ容器フタの外側に出るよう、図のように確実に押し込みます。



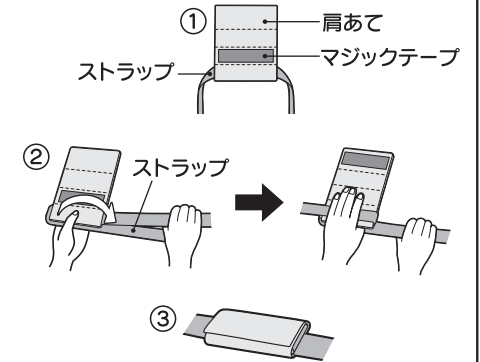
ストラップの取り付け方

- ①本体のストラップ通しに、ストラップを上から差し込みます。
- ②ストラップの折り返しを調節具に差し込んで引きまします。



ストラップのたたみ方

- ①肩あてをストラップの中央にもってきます。
- ②ストラップを肩あての下に折り、矢印の方向に肩あてを回転させながらたたみます。
- ③上記②をくり返してお好みの長さまでたたみ、肩あてを巻いて、マジックテープで止めます。(ストラップのたたむ長さにより肩あての向きが変わります。)



上手にお使いいただくためのアドバイス

- 汁気の多いおかずはスープ容器に入れてください。
- 夏は冷たいめん類をどうぞ(そうめん、そば、うどんなど)。スープ容器に氷と濃い目のつゆ、ごはん容器に十分に冷やしためん類を入れ、おかず容器には薬味を入れます。
※おかず容器に腐敗しやすい食品は入れないでください。

お手入れ方法

臭いや汚れ・カビを防ぎ、いつまでも清潔にご使用いただくために、ご使用後は必ずお手入れをしてください。

- ご使用後は、すぐにきれいに洗い、十分乾燥させてください。
- お手入れは、ぬるま湯でうすめた食器用中性洗剤を使用してください。
- 汚れが落ちない場合は下表に従って台所用漂白剤(目安:30分)を使用してください。
- 長期間ご使用にならないときは、きれいに洗って汚れを落とし、十分乾燥させ、高温多湿の場所をさけて保管してください。

部品名	洗い方	お手入れ方法	
おかず容器(本体・フタ) ごはん容器(本体・フタ) スープ容器(本体・フタ) ハシ・ハシケース 保温容器(フタ)	<ul style="list-style-type: none"> ○食器洗浄機 ○食器乾燥機 ○流水洗い ○つけ洗い ○漂白剤 	きれいに洗い、水分を拭き取って、十分乾燥させてください。 スープ容器・おかず容器のフタのお手入れ後は、パッキン・ベンをそれぞれ正しい位置に確実に取り付けてください。	
パッキン ベン	<ul style="list-style-type: none"> ○食器洗浄機 ○食器乾燥機 ○流水洗い ○つけ洗い ○漂白剤 	使用後すぐにスープ容器・おかず容器のフタから取りはずし、きれいに洗い、十分乾燥させてください。	
保温容器(本体)	内側	<ul style="list-style-type: none"> ×食器洗浄機 ×食器乾燥機 ○流水洗い ○つけ洗い ○酸素系漂白剤 ×塩素系漂白剤 	きれいに洗い、十分乾燥させてください。
	外側	<ul style="list-style-type: none"> ×食器洗浄機 ×食器乾燥機 ○流水洗い ×つけ洗い ×漂白剤 	きれいに洗い、よく振って水を切り、すぐに乾いた布で水分を拭き取って、十分乾燥させてください。

お手入れ上の注意

お手入れ前によくお読みの上、必ずお守りください。

- 煮沸はしないでください。
*熱により部品が変形して漏れてやけどやものを汚す原因になります。 ⊙ 禁止
- 保温容器本体は水中に放置しないでください。また食器洗浄機・食器乾燥機は使用しないでください。
*すきまに水が浸入してさびや保温・保冷不良などの原因になります。また塗装・印刷・シールなどはがれの原因になります。 ⊙ 禁止
- シンナー・ベンジン・金属タワシ・みがき粉・クレンザーは使用しないでください。
*さびや傷・故障などの原因になります。 ⊙ 禁止
- 保温容器本体は塩素系漂白剤を使用しないでください。
*さびや保温・保冷不良の原因になります。 ⊙ 禁止
- 保温容器本体の外側は漂白剤を使用しないでください。
*塗装・印刷・シールなどはがれの原因になります。 ⊙ 禁止

こんなときは…

分からないことがありましたら、以下の項目をお確かめください。

不具合	原因	対処方法
保温が効かない	熱いごはん・スープ類を入れていない	ごはん容器とスープ容器には、熱い食品を入れてください。ぬるい場合は、電子レンジで加熱すると効果的です。(電子レンジで加熱する場合は、必ずフタをはずしてください。)また、あらかじめ予熱すると保温に効果的です。【P.2】
	入れる量が少ない スープ類を入れていない	食品の量を増やしてください。 スープ類を入れずに使用すると、保温効果が十分にでないことがあります。スープ類を必要としない場合でも、スープ容器に熱湯を入れると効果的です。
スープ容器から漏れた	フタを確実に閉めていない	フタは確実に閉めてください。
	スープ類を入れすぎている	スープ類の量は8分目までにしてください。【P.2③】
	パッキンやベンがはずれている パッキンやベンが消耗している	正しい位置に確実に取り付けてください。【P.3】 別売の「パッキンセット」をお買い求めください。【P.10】
保温容器内側が変色した	汚れが付着している	酸素系漂白剤を使用してください。【P.5】
	斑点状の赤いさびが付着している	水に含まれる鉄分などが付着したものです。食酢を10%程度入れたぬるま湯を保温容器に入れ、約30分後によく洗ってください。
内容器が変色した・異臭がする	汚れが付着している	汚れや臭いが取れない場合は漂白剤を使用してください。【P.5】
パッキン・ベンが変色した	汚れ・カビが付着している	漂白剤を使用してください。【P.5】 汚れ・カビが落ちない場合は廃棄し、別売の交換用部品をお買い求めください。【P.10】
内容器フタが閉まらない	容器が破損・消耗している	別売の交換用部品をお買い求めください。【P.10】
食品が腐敗した	長時間保存している	できるだけ早く(6時間以内)一度にお召し上がりください。
	生もの・乳製品などを入れている	生もの・乳製品など変質や腐敗しやすい食品は入れないでください。
スープ類を入れた状態でフタが開かない	あたたかいおかずをおかず容器に入れている	おかずを十分に冷ましてからフタをしてください。
	閉めすぎ・スープ類の腐敗	容器を縦置きにしてオープナーなどの専用の道具を使って開けてください。開かない場合はサーモスお客様相談室にご相談ください。【P.10】

◆上記のいずれの項目にもあてはまらない場合はサーモスお客様相談室にご相談ください。【P.10】

表示マークの意味について

■製品を正しくお使いいただくために、誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を以下の表示で区分しています。

⚠ 警告	死亡または重傷を負う恐れがある内容を示しています。
⚠ 注意	軽傷または物的損害を負う恐れがある内容を示しています。

■図記号について

🚫 禁止	してはいけない内容を表しています。
📌 必ずおこなう	必ずお守りいただく内容を表しています。

安全上の注意

ご使用前によくお読みの上、必ずお守りください。

⚠ 警告

乳幼児の手の届くところには置かないでください。また、いたずらには十分に注意してください。

* 小さな部品を誤飲して窒息の原因になります。また、やけどやけがの原因になります。



🚫 禁止

⚠ 注意

ランチジャーの目的以外に使用しないでください。

* けがなどの原因になります。🚫 禁止

ストーブやコンロなどの火気に近づけないでください。

* やけどの原因になります。また部品が変形して漏れてやけどやものを汚す原因になります。



🚫 禁止

横置きにしないでください。

* 漏れてやけどやものを汚す原因になります。



🚫 禁止

ごはん容器・おかず容器にスープ類を入れないでください。

* 漏れてやけどやものを汚す原因になります。🚫 禁止

各容器のフタは確実に閉めてください。【👉P.2③④⑤】

* 漏れてやけどやものを汚す原因になります。📌 必ずおこなう

スープ容器フタは専用のパッキンとベンを正しく取り付けてください。

【👉P.3】

* 漏れてやけどやものを汚す原因になります。📌 必ずおこなう

安全上の注意

おかず容器フタは専用パッキンを正しく取り付けてください。

【👉P.3】

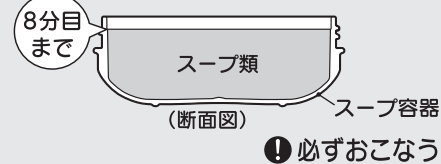
* フタがはずれて、ものを汚す原因になります。📌 必ずおこなう

スープ容器は不要な場合でも必ず保温容器に入れてください。

* 振動などでごはん容器やおかず容器のフタがゆるみ、漏れてものを汚す原因になります。📌 必ずおこなう

スープ容器に入れるスープ類の量は8分目までにしてください。

* 入れすぎると、フタを閉めたときにスープ類があふれ出る原因になります。また使用中に漏れてやけどやものを汚す原因になります。



📌 必ずおこなう

保温容器フタを持って運ばないでください。

* 落下して、けがや変形・故障の原因になります。🚫 禁止

製品には必ず専用の部品を使用してください。

* 漏れてやけどやものを汚す原因になります。📌 必ずおこなう

次の点を必ずお守りください。

● スープ容器には十分に加熱（沸とう）させた熱いスープ類を入れて、すぐに保温容器に入れてください。📌 必ずおこなう

● おかずは十分に冷ましてからフタをしてください。📌 必ずおこなう

● 生もの・乳製品など腐敗しやすい食品は入れないでください。🚫 禁止

● 食品はできるだけ早く（6時間以内）一度にお召し上がりください。📌 必ずおこなう

● 車の中など高温になるところには放置しないでください。🚫 禁止

● 食品は長時間保存しないでください。🚫 禁止

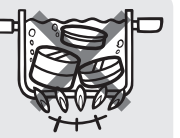
● 飲み残し、食べ残しは処分してください。📌 必ずおこなう

* 腐敗した食品を食べて、体調不良の原因になります。

* 腐敗や発酵などによりガスが発生して内圧が上がり、フタが開かなくなる・飛び出す、食品がふき出るなどして、けがやものを汚す原因になります。

煮沸はしないでください。

* 熱により部品が変形して漏れてやけどやものを汚す原因になります。🚫 禁止

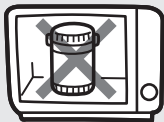


🚫 禁止

安全上の注意

保温容器は電子レンジに入れないでください。

- * 保温容器は金属製のため、スパークして電子レンジが故障する原因になります。
- * 熱により部品が変形する原因になります。



⊘ 禁止

電子レンジで各容器の食品を加熱する際は電子レンジの取扱説明書の指示に従い、次の点を必ず守ってください。

- フタは入れないでください。 ⊘ 禁止
- オープン・グリル機能で使わないでください。 ⊘ 禁止
- 他の料理でオープン・グリル機能を使用した後は庫内が冷めてから使用してください。 ❶ 必ずおこなう
- 油分・糖分の多い食品は長時間加熱しないでください。 ⊘ 禁止
- * 変形して漏れてやけどやものを汚す原因になります。

落とす、ぶつけるなど強い衝撃を与えないでください。

- * けがや漏れてやけどやものを汚す原因になります。また、保温・保冷不良の原因になります。 ⊘ 禁止

改造・分解・修理は絶対にしないでください。

- * 故障・事故の原因になります。(修理はお買い上げの販売店またはサーモスお客様相談室にご相談ください。)

【P.10】



⊘ 禁止

スープ類を入れた状態でスープ容器フタが開かない場合は容器を温めないでください。

- * 内圧が上がりフタが飛び出す、スープ類がふき出るなどして、けがやものを汚す原因になります。フタが開かない場合は「P.6こんなときは…」の「スープ類を入れた状態でフタが開かない」に従ってフタを開けてください。 ⊘ 禁止

使用上のお願い

保温容器に食品を直接入れないでください。

- * さびの原因になります。

ご使用条件によってはストラップが色落ち・色移りする場合があります。

匂いの強いものや色素の濃いおかず類(ほうれん草、たくあん、シソなどの有色野菜)はラップフィルムやクッキングホイルに包んで入れてください。

- * 直接入れると、匂いがついたり、色素がしみ込んで変色したりする原因になります。

交換用部品のご案内

■ 本製品の各部品は、下表の交換用部品名で別売しています。

各部のなまえ	交換用部品名
おかず容器セット	JBGおかず容器セット※1 (パッキン付き)
ごはん容器セット	JBG-1800ごはん容器セット※1 JBG-2000ごはん容器セット※1
スープ容器セット	JBGスープ容器セット※1 (パッキン・ベン付き)
パッキンセット	JBGパッキンセット※2
ハシ・ハシケースセット	JBGハシ・ハシケースセット※3

※1 本体・フタ 各1個

※2 おかず容器/パッキン・スープ容器/パッキン・ベン 各1個

※3 ハシ・ハシケース 各1個

【交換用部品のお求め方法】

品番・色名・交換用部品名をご確認の上、下記方法でお求めください。
(品番・色名は、製品の底面に貼ってあるシールに記載されています。)

- ① ホームページ……………サーモスオンラインショップ(交換用部品販売)からお求めください。(取り扱い部品が限られておりますが、ご了承ください。)
- ② 販売店……………サーモス製品を取り扱っている販売店でお取り寄せください。
- ③ サーモスお客様相談室 ……お電話でお申し込みください。

- お預かりした個人情報は、部品の発送、関連するアフターサービスのために利用いたします。利用目的以外には、お客様の同意なしに第三者に開示提供することはありません。なお、お客様の個人情報はサーモス(株)にて管理させていただきます。

製品の品質管理には、万全の注意を払っておりますが、万一製品に不具合が生じたときや製品に関するご不明な点・ご質問などがございましたら、下記お客様相談室までお問い合わせください。

サーモスお客様相談室  **0570-066966**

ナビダイヤル。 ※一般電話からは市内通話料金でご利用いただけます。

ナビダイヤルがご利用いただけない場合はこちらへ **0256-92-6696**

受付時間：9:00～17:00 月曜日～金曜日(祝日・弊社休業日を除く)

〒959-0215 新潟県燕市吉田下中野1435番地

サーモス株式会社 お客様相談室

ホームページアドレス <https://www.thermos.jp/>

製品の改良・改善のために仕様の一部を予告なしに変更することがあります。そのためイラストと製品とは多少異なる場合がありますが、ご了承ください。